



全身のバランスを
整えて、新たな一步を
サポートします

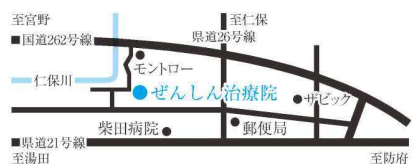
マッサージと聞くとリラクゼーション(癒し)と受け取られることも多く、広告も施術の効果を謳うことが出来ない等の制限があるため、口コミ等の地道な販路開拓が一番の近道かなと思っています。



歪みをチェックし運動指導も行ないます

前進をサポートする存在に

鍼灸マッサージが対応できる範囲は、身体の不調の原因を取り除く以外にも運動機能の向上や体質改善など対応できる分野は広いです。将来的には、市内の鍼灸院それぞれの得意分野を生かして連携できたらと思っています。店舗名にある「ぜんしん」は、「全身」とも取れますが「前進」の意味を込めて付けました。患者さんが目標に向かって前進する、こうなりたいという思いに向かって身体と心をサポートする、そんな存在になれるよう頑張っています。



ぜんしん治療院

代表者：坂倉 良和
所在地：山口市大内長野 1929-3 M1-103

TEL: 083-981-4013
HP: <http://zen2019.jp/>
事業内容：鍼灸マッサージ

スポーツと痛みとケア

私がスポーツを支える仕事を知ったのは小学生の頃、当時読んだ『柔道部物語』に登場したトレーナーが最初でした。私は昔から身体を動かすのが大好きで、柔道の他にサッカーやバレーボール、社会人になってからも水泳・空手・エアロビクス・自転車等様々なスポーツをしてきました。その間膝や肩の痛みにも悩むことも多く、病院や鍼灸院で治療していましたが、自分でも対応できるようにしたいと思っていました。



明るい院内でリラックス

本格的にスポーツをサポートする側に視点が変わったのは、友人が運動中に膝を故障して入院・手術をするようになったのがきっかけです。スポーツジムなどで運動の機会は増えましたが、ケガや予防に対する知識や体制は充分ではありません。私は30歳を目前に約11年間の公務員生活に終わりを告げ、ケガの治療に携われる鍼灸マッサージ師の国家資格取得を目指し、新たなスタートを切りました。

スポーツをやる側から支える側へ

本格的にスポーツをサポートする側に視点が変わったのは、友人が運動中に膝を故障して入院・手術をするようになったのがきっかけです。スポーツジムなどで運動の機会は増えましたが、ケガや予防に対する知識や体制は充分ではありません。私は30歳を目前に約11年間の公務員生活に終わりを告げ、ケガの治療に携われる鍼灸マッサージ師の国家資格取得を目指し、新たなスタートを切りました。

痛みの緩和で終わらない施術を

神奈川の専門学校で3年間学び国家試験に合格した後、広島と山口の訪問マッサージ店に勤務しました。2つの現場で感じたことは、痛みを取り除くだけでなく患者さんにその後どうなりたいかという目標を意識させ、そこをゴールに施術することです。例えば、高齢の方が多い訪問マッサージでよく話を聞くと「また1人で歩けるようになりたい」などの本人の希望があります。それを諦めさせない、叶えるサポートが私の仕事だと強く感じました。



施術は、はり・きゅう・マッサージを併用

販路開拓は地道に

独立することは公務員を退職した時から考えていて、十分な施術時間が確保できる自由診療を行うことにしました。開業準備は約半年。勤務と並行して商工会議所に相談し、作成した事業計画をもとに融資を受けることができました。開業して苦労しているのは販路開拓です。